

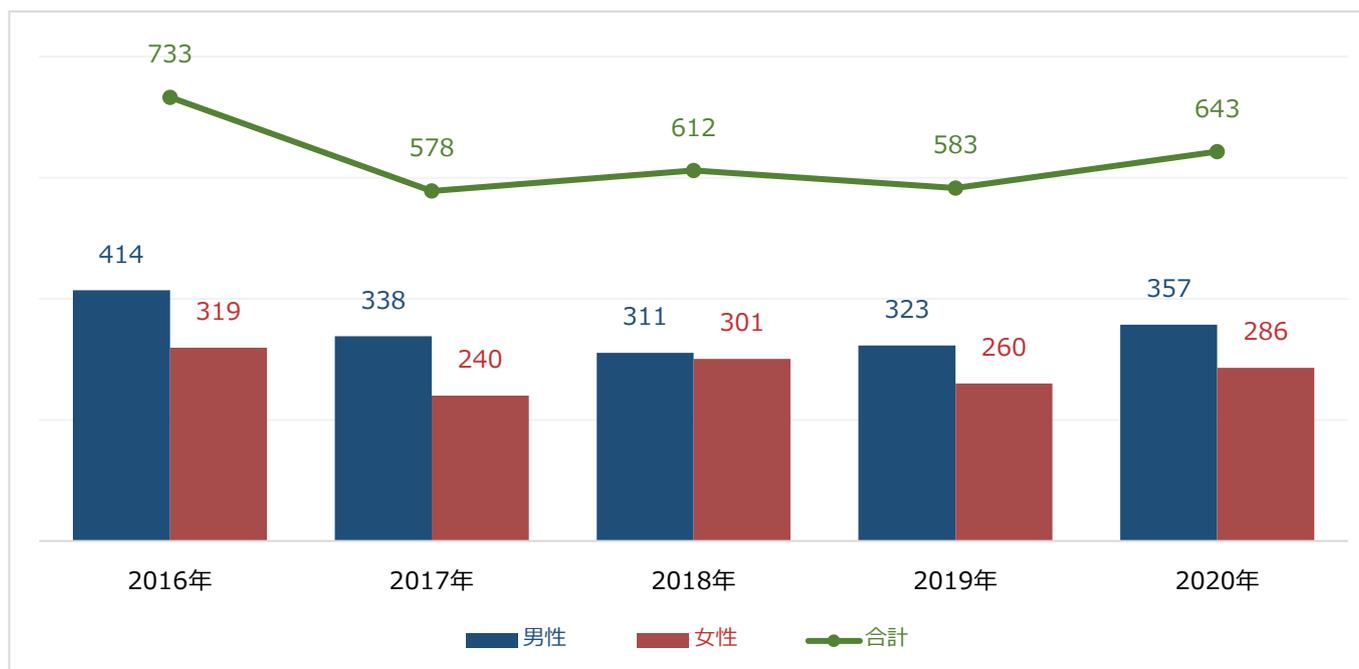
# 2020年 がん登録集計

1. 直近5年間の推移
2. 性別・年齢階級別
3. (男性) 部位別罹患数
4. (女性) 部位別罹患数
5. 来院経路
6. 発見経緯
7. 症例区分
8. 各部位の5年間推移
9. 診断から治療までの日数

**対象期間** 2020 / 01 / 01 ~ 2020 / 12 / 31

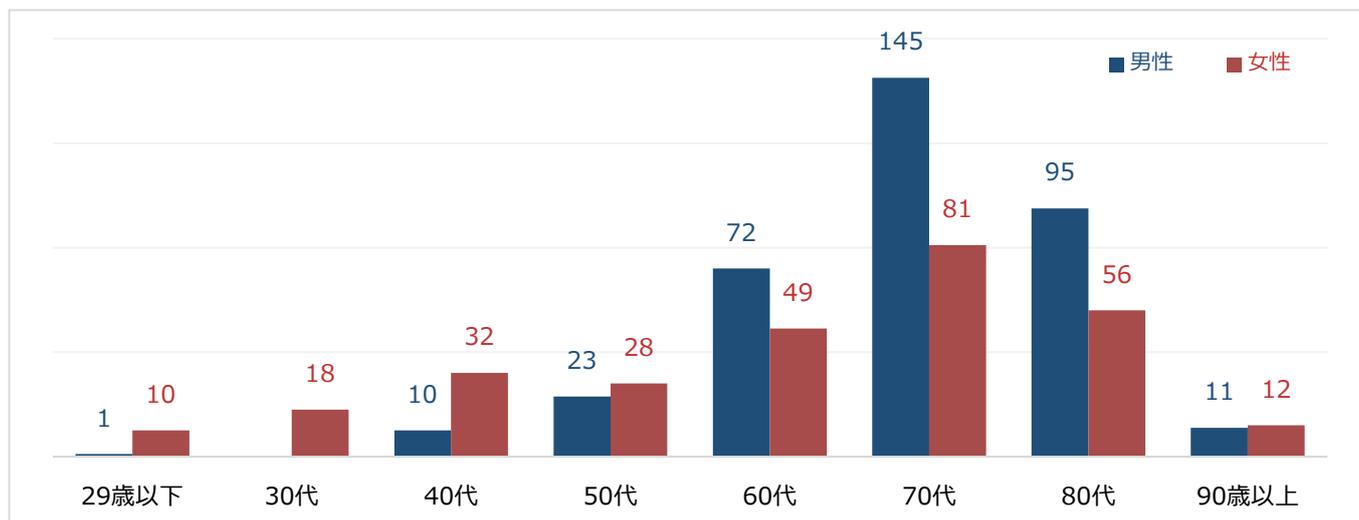
- 集計対象**
- ①当院で診断のみ行ったもの。
  - ②当院でがんの治療を開始したもの。
  - ③他院で治療を開始し、当院で治療を継続したもの。 ※いずれも、再発時の治療は含みません。

## 1. 直近5年間の推移



2020年の登録数は、【男性】357件 【女性】286件 【全体】643件です。女性より男性の罹患数が多いです。

## 2. 性別・年齢階級別

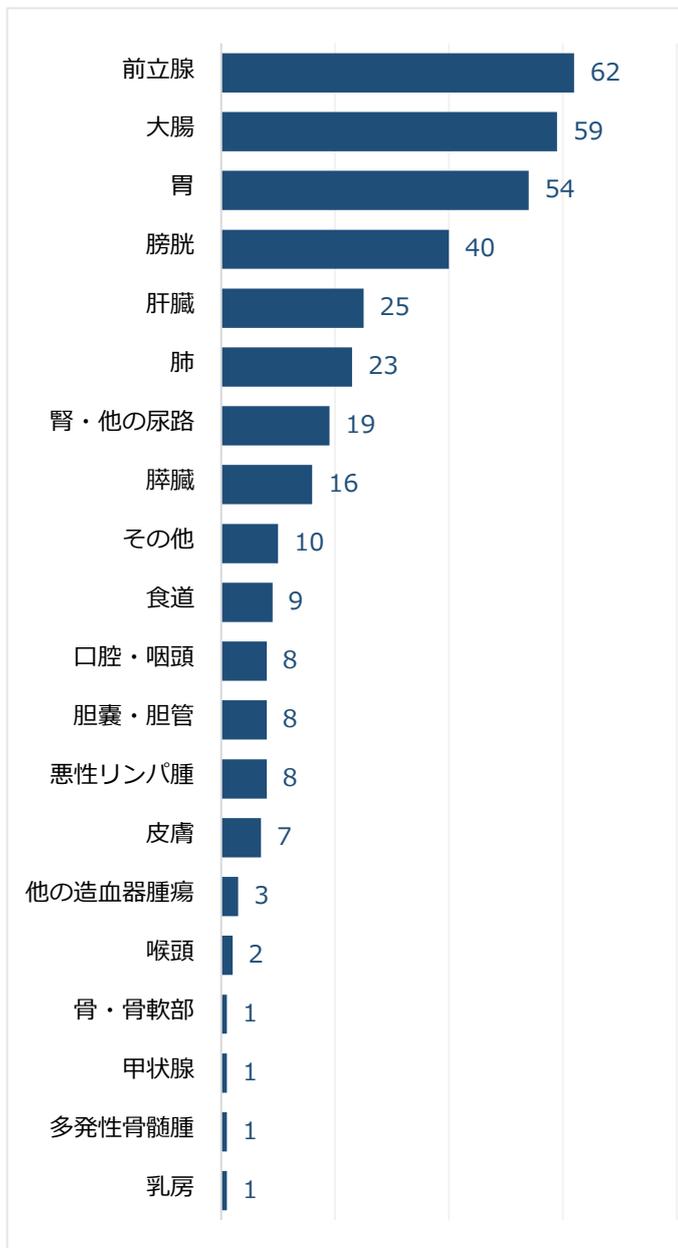


平均年齢は、【全体】70.2歳 【男性】73.5歳 【女性】66.2歳です。

男女ともに70代での罹患数が多いです。

若年層では女性が男性の数を上回っていますが、乳房や子宮頸部などの部位で占めています。

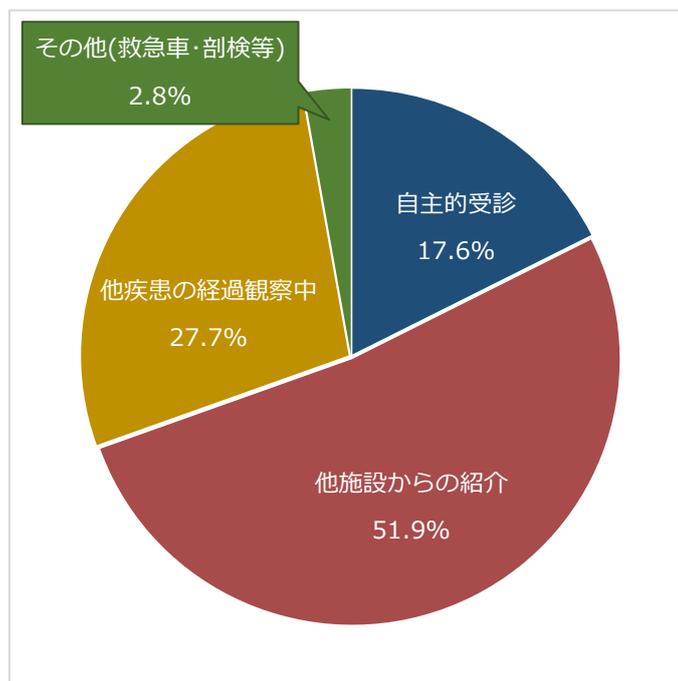
### 3. 男性 部位別罹患数 — 357件



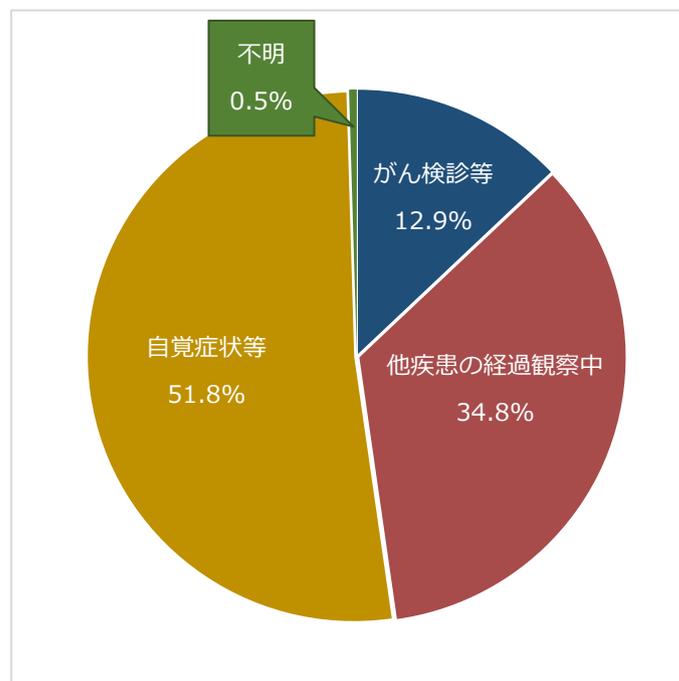
### 4. 女性 部位別罹患数 — 286件



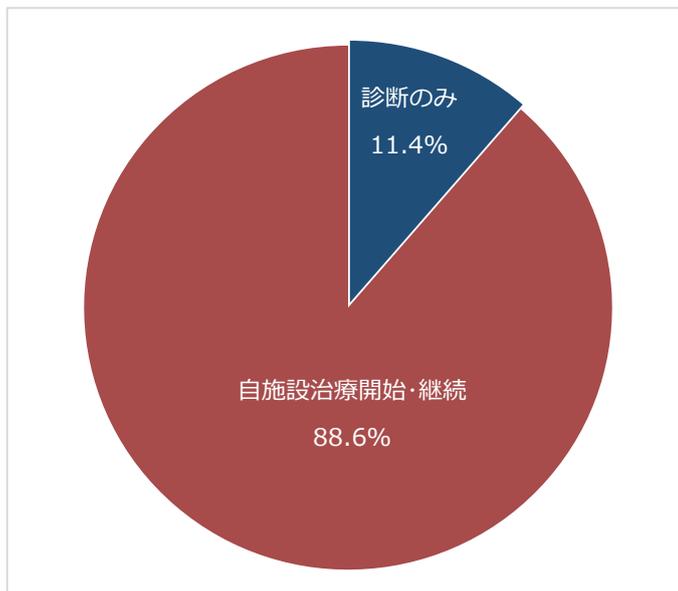
### 5. 来院経路



### 6. 発見経緯



## 7. 症例区分



診断のみ行ったものは11.4%です。

がんの進行具合や治療法により当院で治療を行うことが出来ない場合や、患者様が他施設で治療することを希望した場合は、他施設へと紹介します。

以下は、2020年【診断のみ】症例で多かった3部位です。

### 子宮頸部

大きな手術(広汎子宮全摘術など)となる場合。

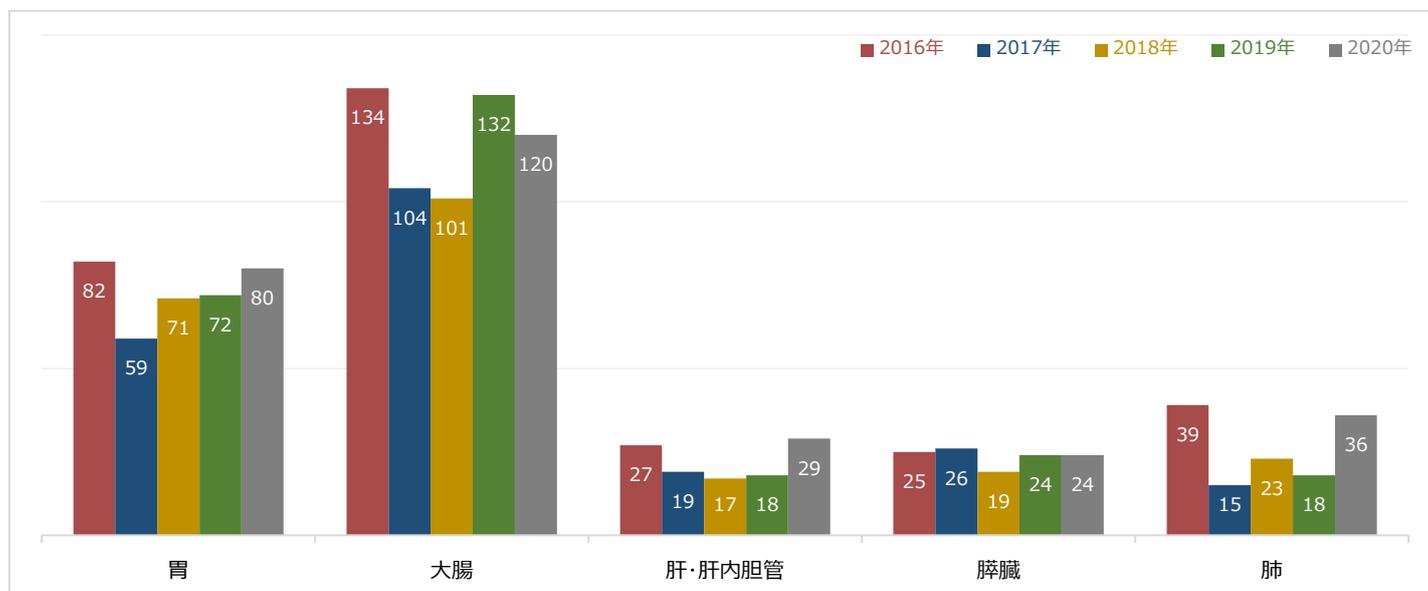
### 前立腺

当院では行えない、ロボット支援下手術や放射線治療を希望される場合。

### 食道

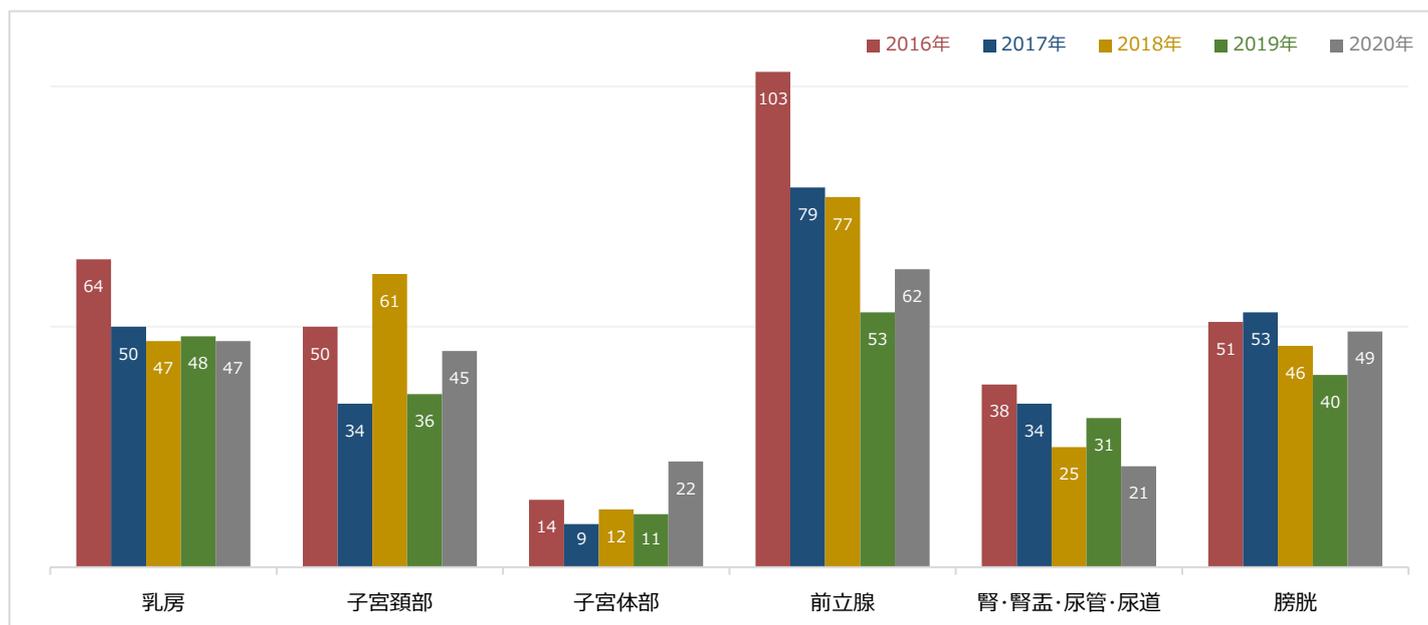
治療症例数の多い病院へ紹介となります。

## 8. 各部位の5年間推移



胃がん・大腸がんは、毎年合わせて約200名の診断・治療を行っています。

2020年4月より消化器肝臓内科・呼吸器内科の専門医師が入職され、肝がんや肺がんの症例数も増えています。



## 9. 診断から治療までの日数

がんと診断した日から治療を開始するまでにかかった日数を、過去5年間に遡り集計しました。

対象は、2016～2020年の間にがんと診断され、当院で治療を開始した症例です。

※ 中央値を表示しています。日数には個人差がありますので、ご了承ください。

	5年全体	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
全体	<b>28.0</b>	28.0	28.0	29.0	27.0	27.0
胃	<b>34.0</b>	35.0	37.5	33.5	33.0	34.0
大腸	<b>19.0</b>	18.0	15.5	20.0	19.0	23.0
肝・肝内胆管	<b>36.0</b>	43.0	41.0	32.0	36.0	36.0
膵臓	<b>19.0</b>	21.0	17.0	17.5	24.0	13.0
肺	<b>39.5</b>	44.0	33.0	34.0	66.5	42.5
乳房	<b>25.0</b>	22.0	24.5	24.0	26.0	31.0
子宮頸部 *	<b>68.0</b>	84.5	70.0	57.0	59.0	68.0
子宮体部	<b>33.0</b>	35.0	33.0	31.5	28.5	37.5
前立腺	<b>35.0</b>	39.0	42.0	27.0	36.0	23.0
腎・腎盂・尿管・尿道	<b>50.0</b>	56.0	46.5	69.0	46.0	43.0
膀胱	<b>20.0</b>	24.0	21.0	21.5	18.0	16.0

\* 子宮頸部は、妊娠中に診断された場合、出産後に治療を行うことになるため、他の部位に比べて治療開始までの日数が長くなっています。

## 部位別集計

当院での治療数が多い部位 (症例数15件以上) について、集計を行いました。

1. 全体
2. 大腸
3. 胃
4. 前立腺
5. 膀胱
6. 乳房
7. 子宮頸部
8. 肺
9. 肝臓
10. 膵臓
11. 腎・腎盂・尿管・尿道
12. 子宮体部

**対象期間** 2020年01月01日～2020年12月31日

**集計対象** ①当院でがんの治療を開始したもの。  
②他院で治療を開始し、当院で治療を継続したもの。 ※いずれも、再発時の治療は含みません。

**Stage** 手術・内視鏡を行ったものは治療後Stage、行っていないものは治療前Stageで集計。

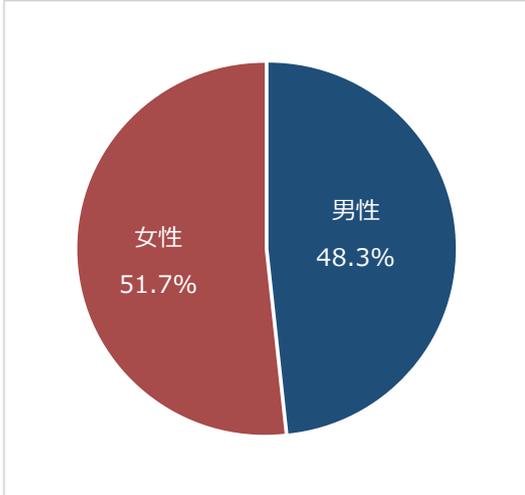
Stageとは? がんの進行度に応じて、基本的に0～IVの5段階に分類されます。  
数字が大きくなるほど、がんが進行している状態を表します。

## 全体 (570症例)

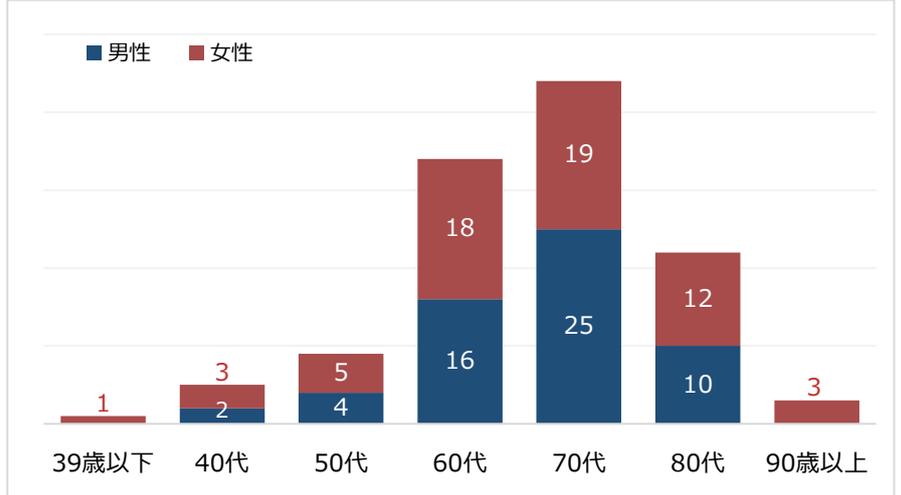
順位	部位	症例数
1	大腸	118
2	胃	74
3	前立腺	53
4	膀胱	47
5	乳房	43
6	子宮頸部	35
7	肺	32
8	肝臓	28
9	膵臓	23
10	腎・腎盂・尿管・尿道	19
11	子宮体部	16
12	胆嚢・胆管	14
13	皮膚	13
14	悪性リンパ腫	12
15	その他 (胸膜・腹膜・精巣など)	12
16	甲状腺	9
17	口腔・咽頭	5
18	卵巣	5
19	他の造血器腫瘍 (真性赤血球増加症・骨髄異形成症候群など)	4
20	多発性骨髄腫	3
21	食道	2
22	白血病	2
23	喉頭	1

# 大腸 (118 症例) ※肉腫を含む

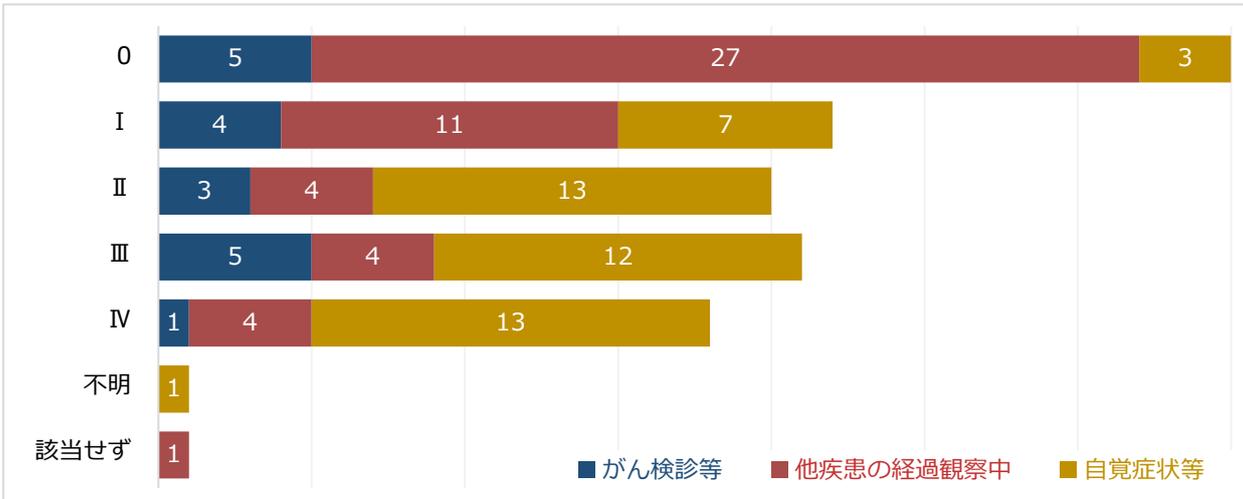
## ● 性別



## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

	治療法	Stage						
		0	I	II	III	IV	不明	該当せず
治療法	手術	4	15	12	6	5	-	1
	内視鏡	31	2	-	-	-	-	-
	手術+内視鏡	-	5	-	-	-	-	-
	手術+化学療法	-	-	6	15	7	-	-
	化学療法	-	-	-	-	2	-	-
	治療なし	-	-	2	-	4	1	-

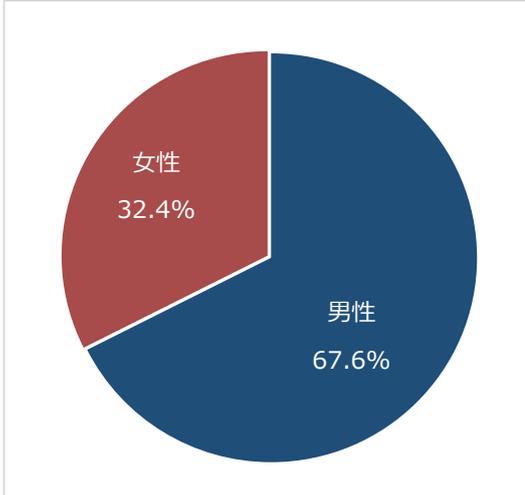
## ● 手術治療の内訳

手術症例数	114件
開腹手術	9件
腹腔鏡手術	67件
内視鏡手術	38件

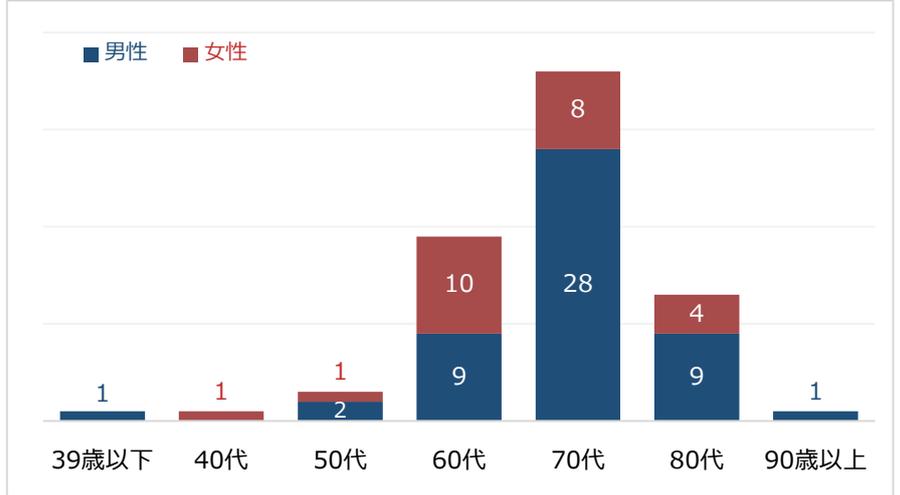
※ 開腹(腹腔鏡)手術と内視鏡手術の両方を行っている症例があるため、上記の表と件数が異なります。

# 胃 (74 症例)

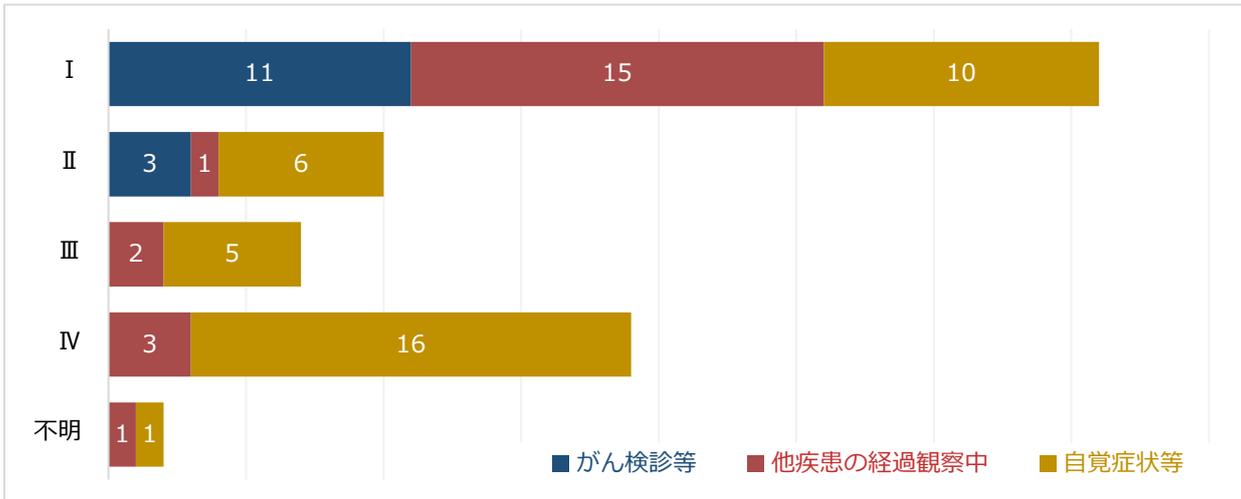
## ● 性別



## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

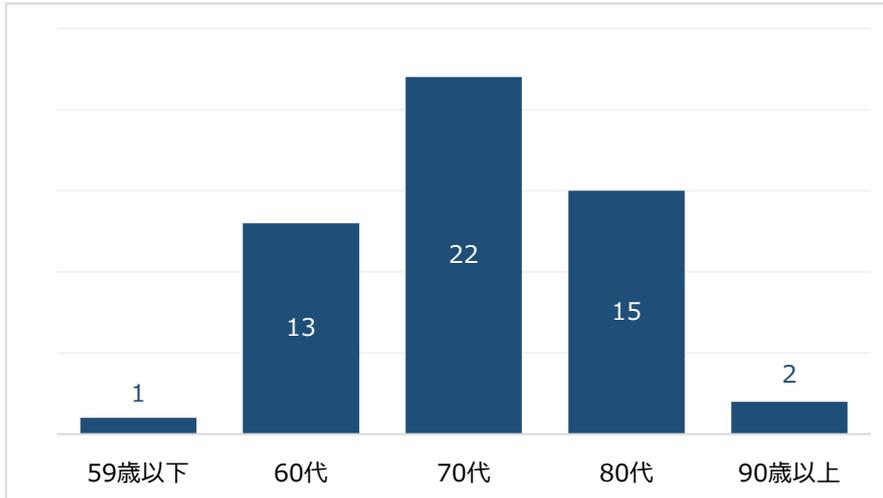
	Stage				
	I	II	III	IV	不明
手術	17	2	1	2	-
内視鏡	18	-	-	-	-
手術+化学療法	-	7	6	7	-
化学療法	-	-	-	5	-
化学療法+症状緩和的治療	-	-	-	2	-
治療なし	1	1	-	3	2

## ● 手術治療の内訳

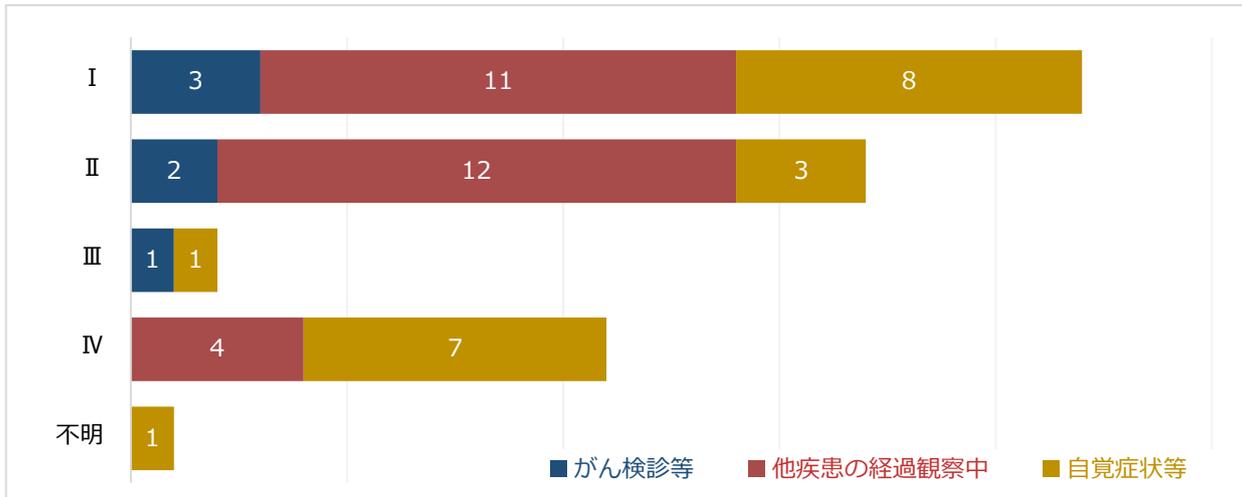
手術症例数	60件
開腹手術	17件
腹腔鏡手術	25件
内視鏡手術	18件

# 前立腺 (53 症例)

## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

	Stage				
	I	II	III	IV	不明
手術	3	2	1	-	-
手術+内分泌療法	1	-	-	-	-
内視鏡(HoLEP ★1)	2	-	-	-	-
化学療法	-	-	-	-	-
内分泌療法	14	15	1	10	1
化学療法+内分泌療法	-	-	-	1	-
治療なし	2	-	-	-	-

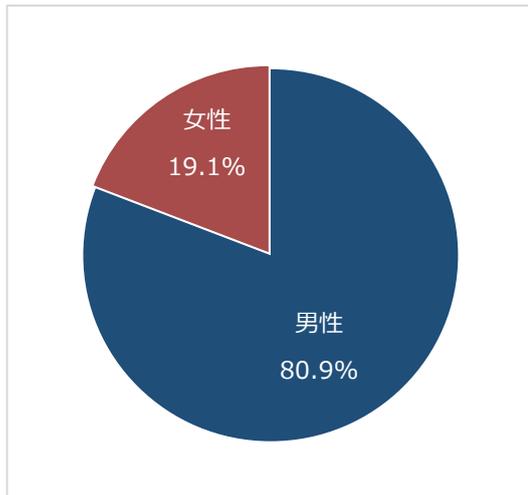
★1 HoLEP(ホルミウムレーザー前立腺核出術)：内視鏡を用いて前立腺の内腺をくり抜き、膀胱内に落とし込んでから、専用の機械で細切して摘出する治療法。

## ● 手術治療の内訳

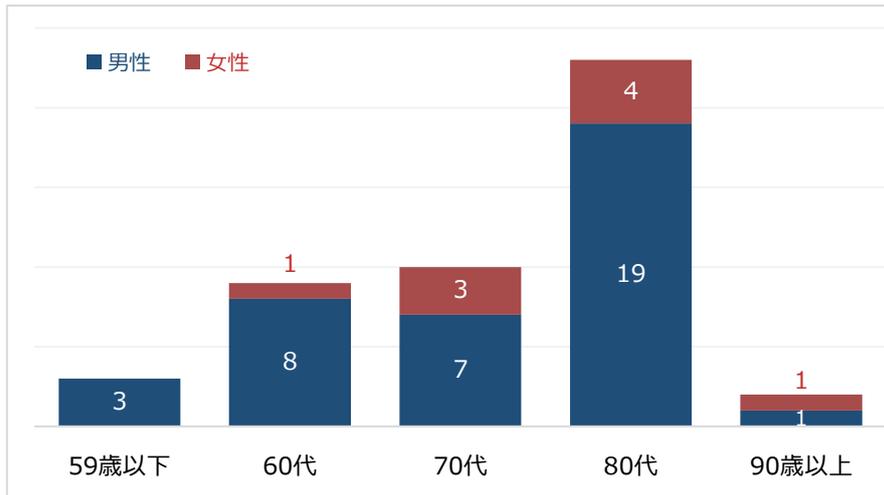
手術症例数	9件
前立腺悪性腫瘍手術	7件
内視鏡手術(HoLEP)	2件

# 膀胱 (47 症例)

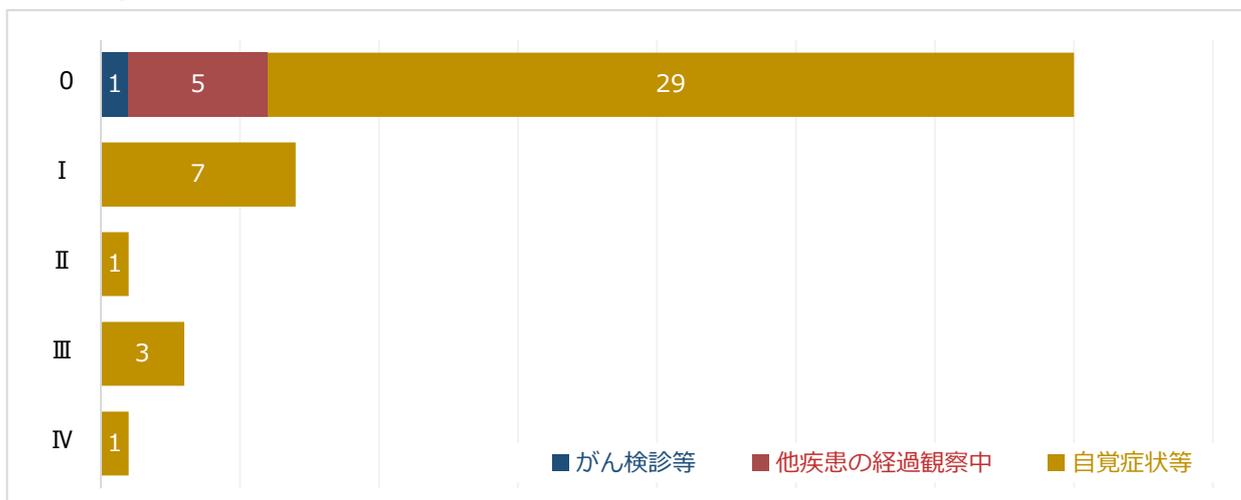
## ● 性別



## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

治療法	Stage				
	0	I	II	III	IV
手術+内視鏡(TUR-Bt ★2)	-	1	-	-	-
手術+内視鏡+化学療法	-	-	1	-	-
内視鏡	12	3	-	2	1
内視鏡+化学療法	16	3	-	1	-
内視鏡+BCG ★3	4	-	-	-	-
化学療法	1	-	-	-	-
BCG	1	-	-	-	-
治療なし	1	-	-	-	-

★2 TUR-Bt(経尿道的膀胱腫瘍切除術)：尿道口から膀胱内に内視鏡を挿入して腫瘍を切除する治療法。

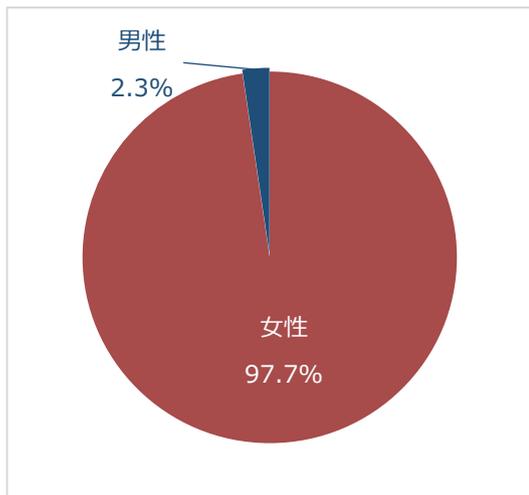
★3 BCG膀胱内注入療法：上皮内がんや筋層非浸潤性膀胱がんに対して、結核のワクチンに使用されるBCGを膀胱内に注入する治療法。

## ● 手術治療の内訳

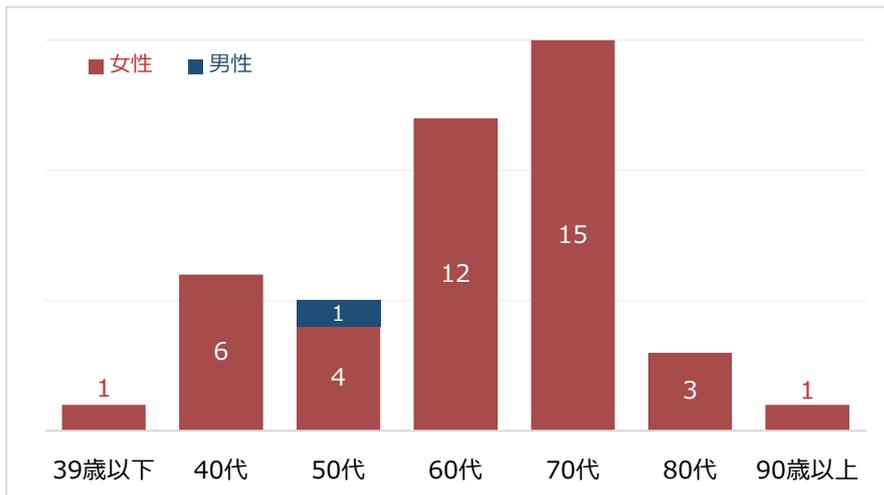
手術症例数	44件
膀胱全摘術	2件
内視鏡手術(TUR-Bt)	42件

# 乳房 (43 症例)

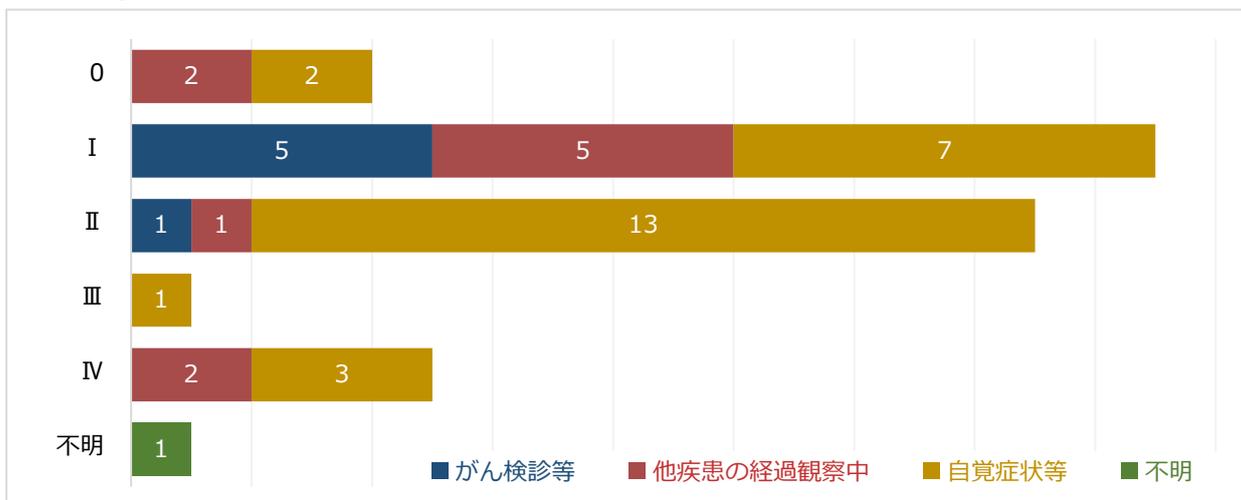
## ● 性別



## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

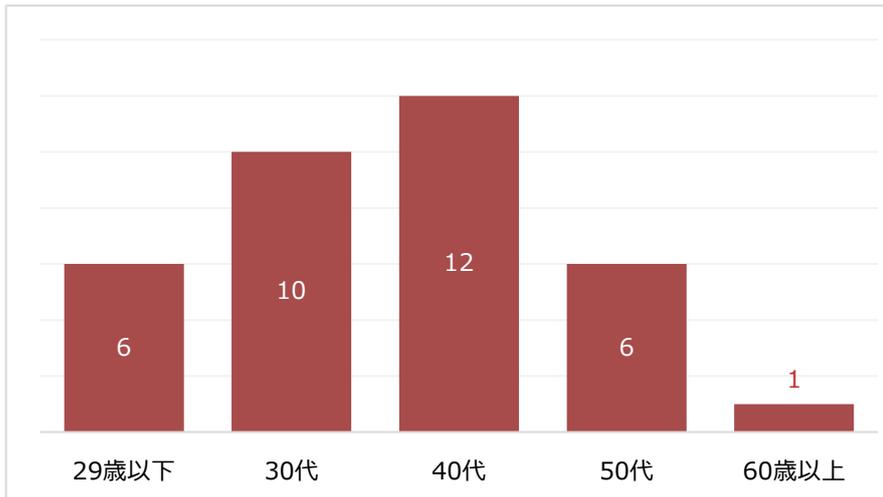
	Stage					
	0	I	II	III	IV	不明
手術	3	2	1	-	-	-
手術+化学療法	-	1	4	1	-	-
手術+内分泌療法	1	10	8	-	-	-
手術+化学療法+内分泌療法	-	3	2	-	-	-
化学療法	-	-	-	-	3	-
内分泌療法	-	1	-	-	2	1

## ● 手術治療の内訳

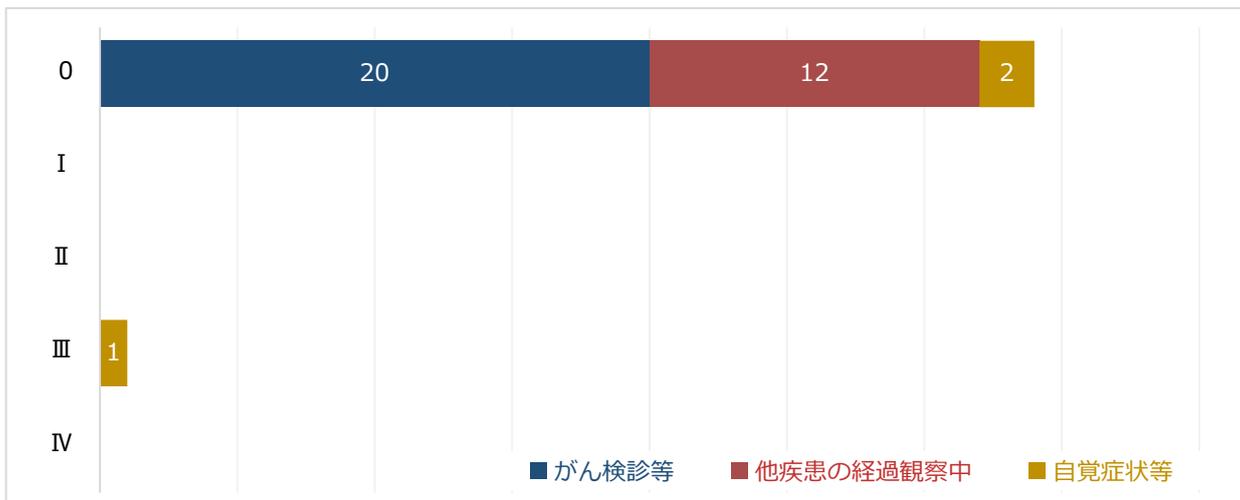
手術症例数	36件
乳房全摘術	25件
乳房部分切除術	11件

# 子宮頸部 (35 症例)

## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

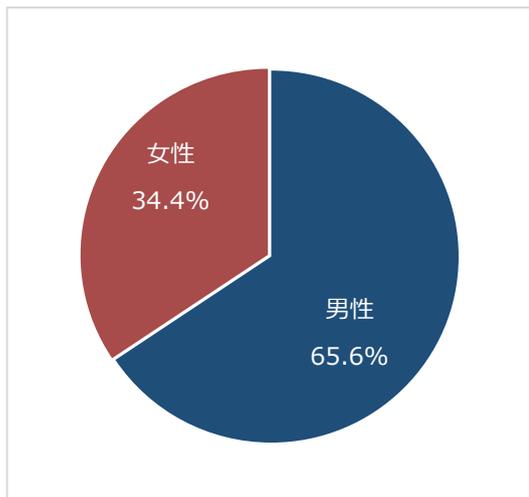
		Stage				
		0	I	II	III	IV
治療法	手術	33	-	-	-	-
	治療なし	1	-	-	1	-

## ● 手術治療の内訳

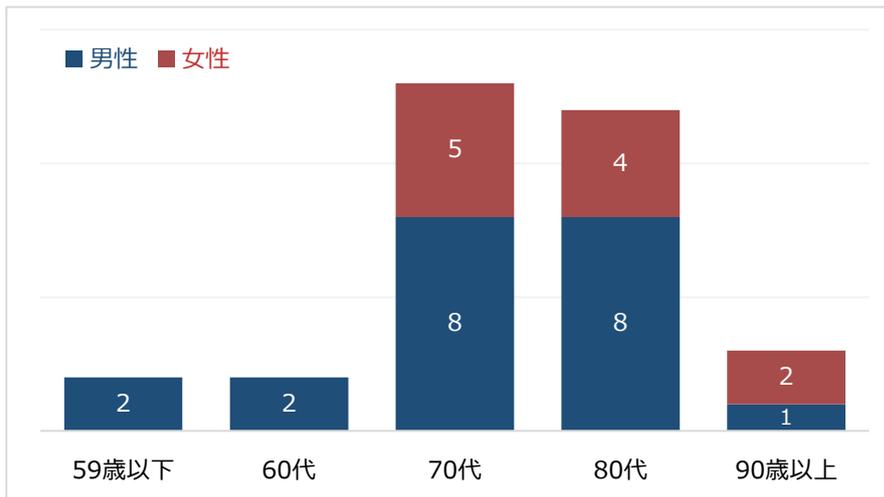
手術症例数	33件
子宮頸部円錐切除術	26件
腹腔鏡手術	7件

# 肺 (32症例)

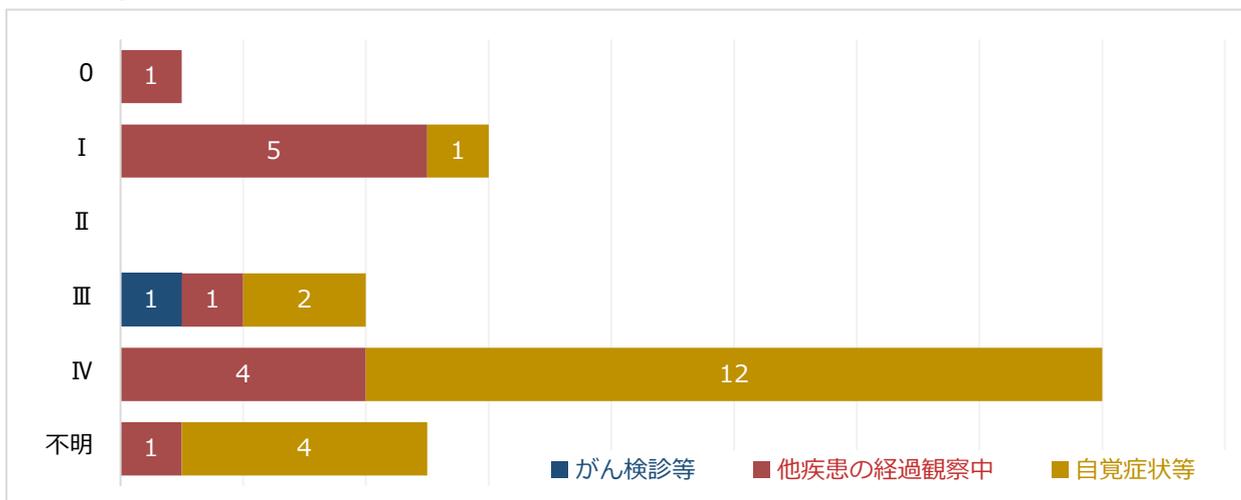
## ● 性別



## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

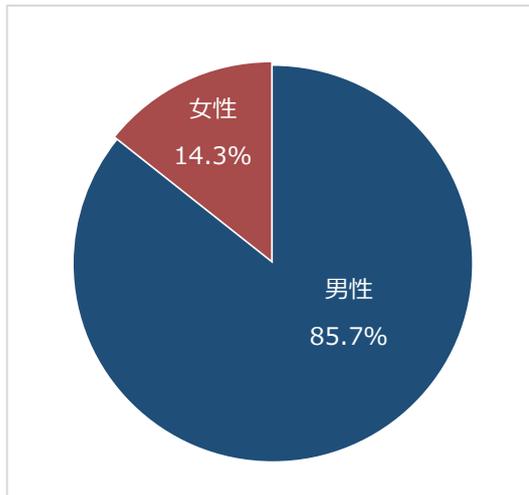
治療法	Stage					
	0	I	II	III	IV	不明
手術	1	5	-	-	-	-
化学療法	-	1	-	4	9	-
化学療法+症状緩和的治療	-	-	-	-	1	-
治療なし	-	-	-	-	6	5

## ● 手術治療の内訳

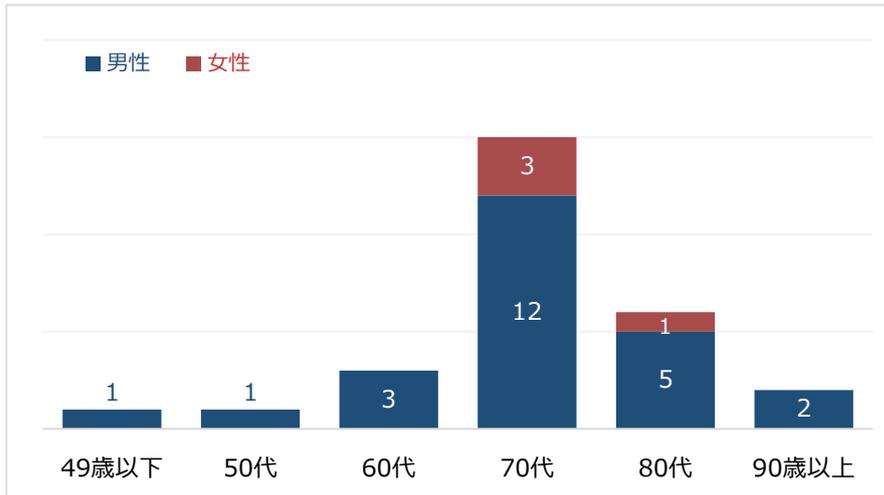
手術症例数	6件
開胸手術	1件
胸腔鏡手術	5件

# 肝 (23 症例) ・ 肝内胆管 (5 症例)

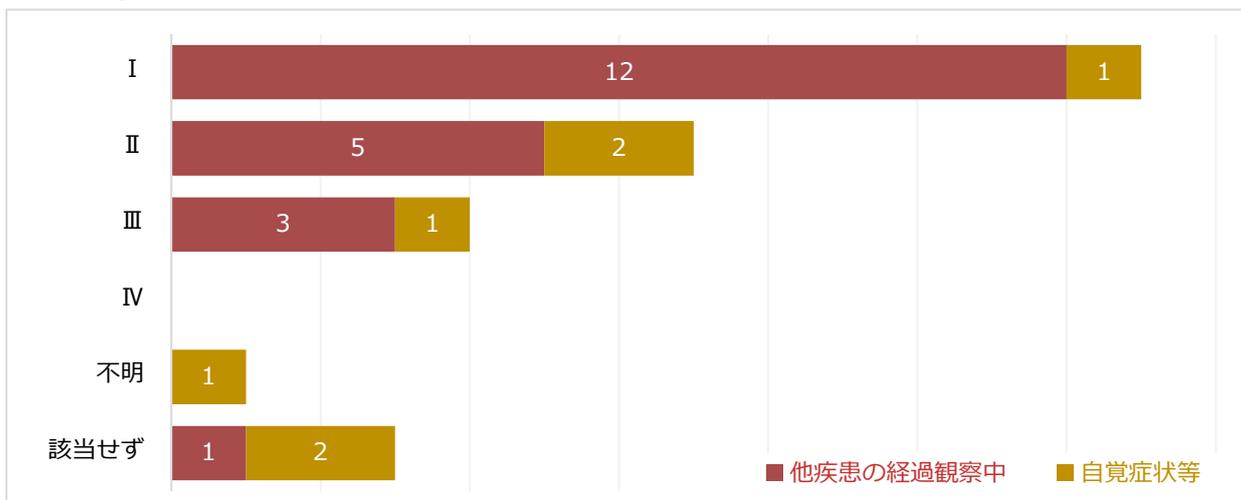
## ● 性別



## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

		Stage					
		I	II	III	IV	不明	該当せず
治療法	手術	5	6	-	-	-	-
	化学療法	1	-	1	-	-	-
	TACE★4, RFA★5 など	4	1	-	-	-	-
	治療なし	3	-	3	-	1	3

★4 TACE(肝動脈化学塞栓療法): 肝がんに栄養を送る動脈に薬剤を注入して血流を防ぎ、がんを壊死させる治療法。

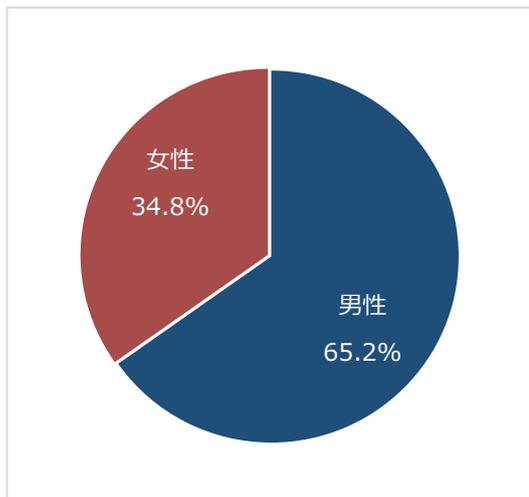
★5 RFA(ラジオ波焼灼療法): 腫瘍に針を刺してラジオ波により加熱することで変性を起こし、腫瘍を死滅させる治療法。

## ● 手術治療の内訳

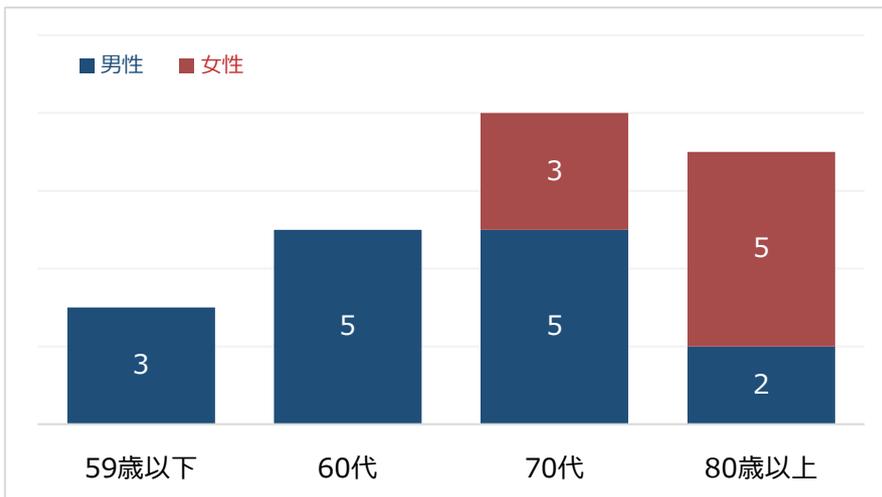
手術症例数	13件
開腹手術	2件
腹腔鏡手術	11件

# 膵臓 (23 症例)

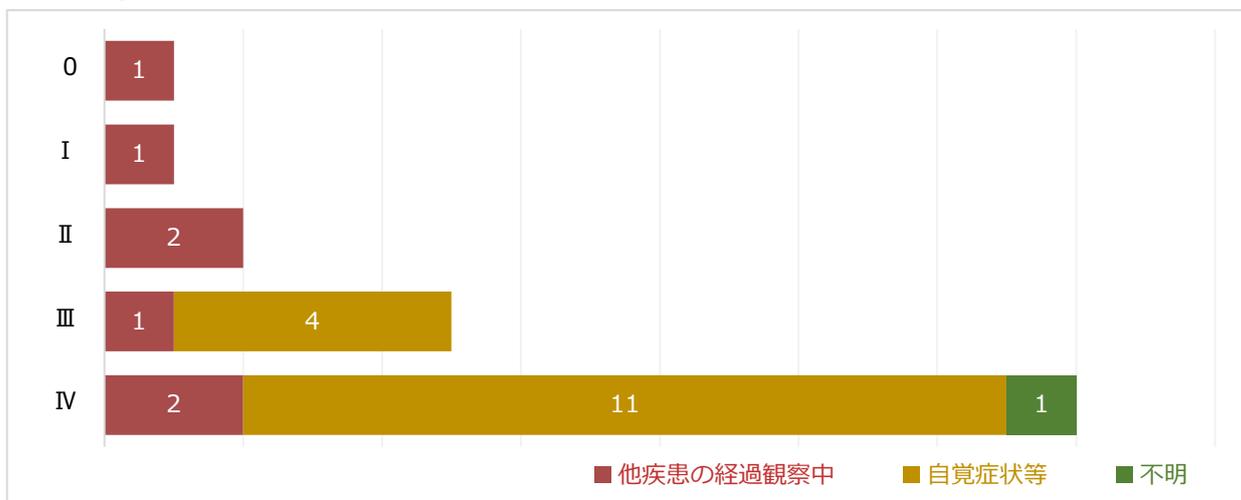
## ● 性別



## ● 年齢階級別



## ● Stage別



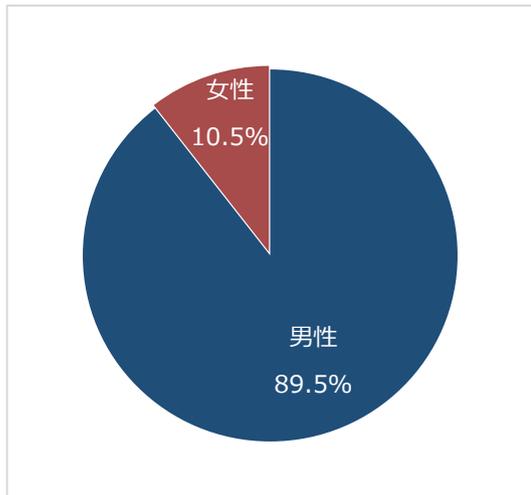
## ● Stage別治療法

		Stage				
		0	I	II	III	IV
治療法	手術	1	1	-	1	-
	手術+化学療法	-	-	2	-	1
	化学療法	-	-	-	2	7
	治療なし	-	-	-	2	6

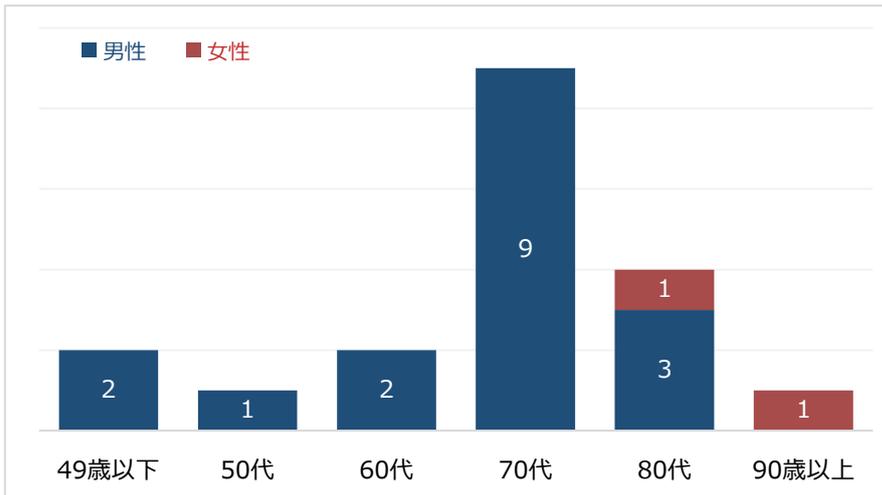
## ● 手術治療の内訳

手術症例数	6件
開腹手術	5件
腹腔鏡手術	1件

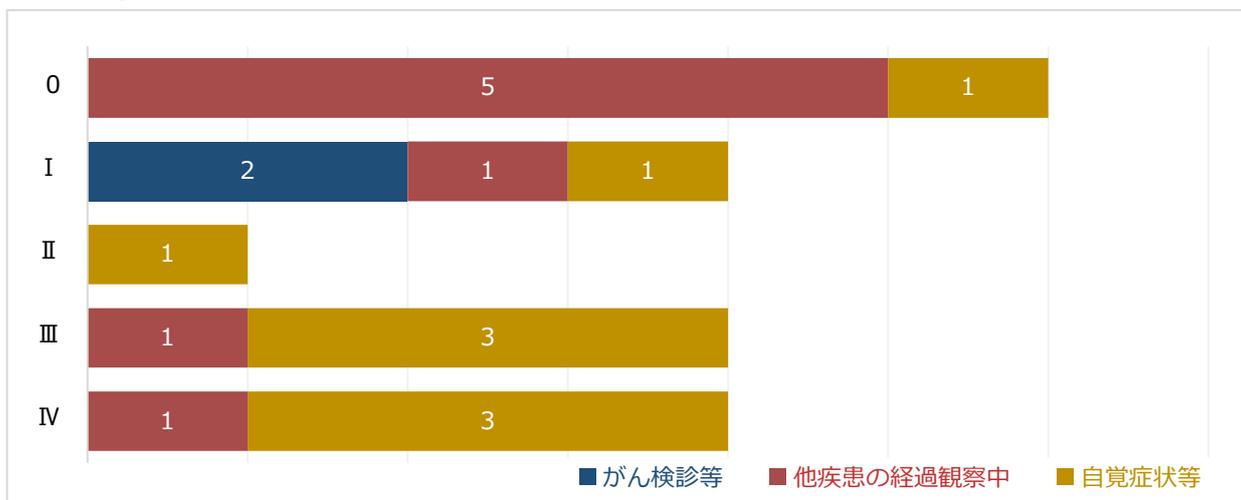
● 性別



● 年齢階級別



● Stage別



● Stage別治療法

		Stage				
		0	I	II	III	IV
治療法	手術	3	3	1	3	-
	内視鏡	1	1	-	-	-
	化学療法	-	-	-	-	2
	BCG ★6	2	-	-	-	-
	治療なし	-	-	-	1	2

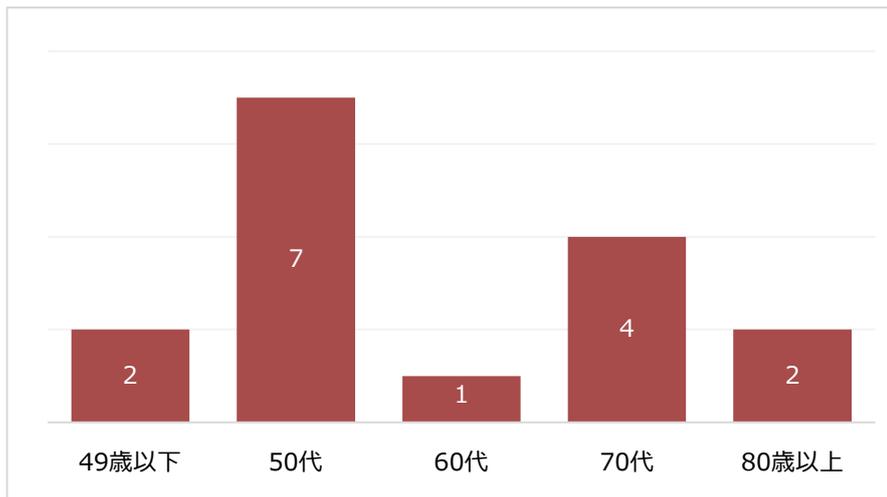
★6 BCG上部尿路注入療法：腎盂・尿管の上皮内がんの場合、腎臓を温存するために、結核のワクチンに使用されるBCGをカテーテルで腎盂・尿管に注入する治療法。

● 手術治療の内訳

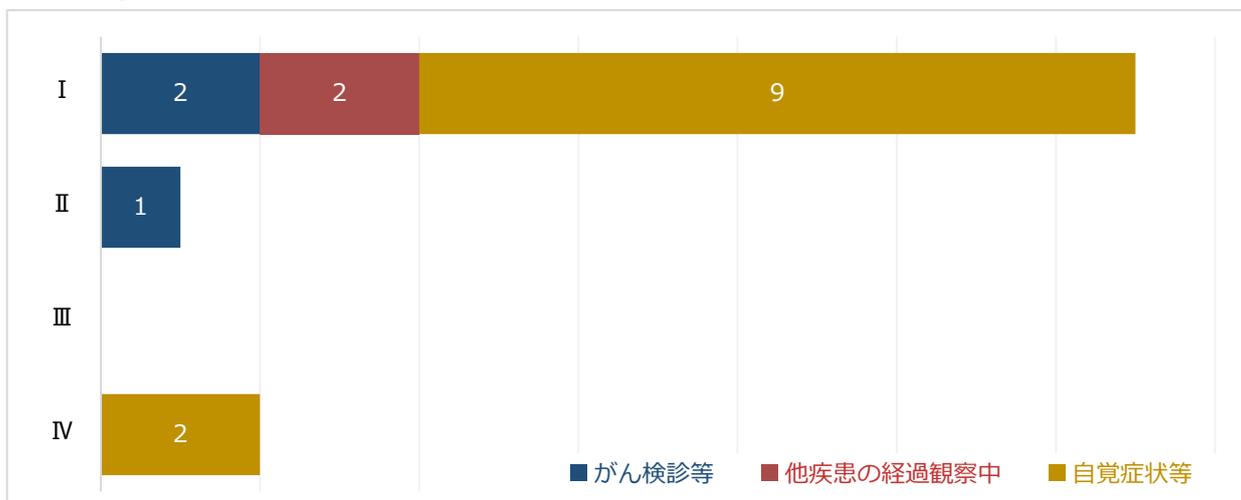
手術症例数	12件
腹腔鏡手術	10件（腎 5例・腎盂 3例・尿管 2例）
内視鏡手術	2件（尿道 2例）

# 子宮体がん (16症例)

## ● 年齢階級別



## ● Stage別



## ● Stage別治療法

		Stage			
		I	II	III	IV
治療法	手術	7	-	-	-
	手術+化学療法	5	1	-	1
	内視鏡	1	-	-	-
	化学療法	-	-	-	1

## ● 手術治療の内訳

手術症例数	15件
開腹手術	14件
内視鏡手術	1件